

(様式4)

校 種	④ ・ 中 どちらかに○	学校番号	9	学校名	宇都宮市立 陽 南 小学校
-----	-----------------	------	---	-----	---------------

平成25年度 健康（保健安全・食育）・体力に関する取組

1 健康（保健安全・食育）・体力に関する主な実態

(1) 定期健康診断・元気っ子健康体力チェックから

- ・ 「裸眼視力1.0未満の者」の割合は31%であり、県の割合よりも2ポイント以上高い。さらに、視力矯正が必須とされる「0.3未満の者」割合が11%を占め、中学年から低下傾向がみられる。
- ・ むし歯の疾病罹患率は、45%と県の割合よりも15ポイントも低く、平成24年度よい歯の優良学校コンクール部門において栃木県議会議長賞を受賞した。
- ・ ぜん息、アトピー性皮膚炎、アレルギー性鼻炎やアレルギー性結膜炎、食物アレルギー等のアレルギー疾患率が30%と高有症率になっており、要管理者が増加している。
- ・ 体力については、新体力テストの本校の結果を県と比較すると、学年によって違いはあるが、上体起こし・反復横跳び・立ち幅跳びがおおむね優れている。その反面、握力・長座体前屈・シャトルラン・50m走・ボール投げが劣っている。特に、持久力と投力は県平均を大きく下回る学年が多い。

(2) 元気っ子健康体力チェックのアンケート及び学習と生活についてのアンケートから

- ・ 「運動することが好きだ」という児童の割合は高いものの、『毎日』運動している児童の割合が高い学年は、6学年のうち2学年であり、少ない。
- ・ 朝、自分で起きたり、決まった時間に就寝したりするなど、規則正しい生活リズムにかかわるような項目は肯定割合が60%と低く、6年間通しても割合の伸びが少ない。
- ・ 食後の歯みがきが習慣化されている児童は、7割程度である。
- ・ 「朝食を毎日食べているか」の質問に肯定的回答をした児童は、どの学年も90%に達しているが、生活習慣の乱れや家庭の事情等の理由で欠食する傾向がある。
- ・ 「好ききらいをしないで食べている」「食事のマナーに関心がある」の質問には、学年が上がるにつれ、ポイントが高くなる傾向であるが、嫌いなものに手を出さない児童もいる。
- ・ 「安全について」のアンケートでは、交通ルールを守っている児童はどの学年も90%を超え100%の学年もある。不審者や安全な行動についての割合も高く、よく意識している。

(3) 授業や体育的行事等への取組状況から

- ・ 体育の授業を好む児童が多く、全校共通の検定表「水泳検定」「なわとび検定」に沿って、自己の目標に向かって意欲的に運動することができる。
- ・ ボール運動のようなゲーム的要素を伴う活動には意欲的に取り組むが、器械運動のように根気強く取り組まないと成果が出ない活動においては、あきらめの早い児童が多い。
- ・ 運動会やドッジボール大会など体育的行事に全力で取り組むことにより、友達と力を合わせることの楽しさを得る児童が多い。

2 今年度の重点目標（地域学校園内で共通する重点目標は、文頭に○または該当箇所に下線）

自ら進んで心と体の健康づくりに取り組む児童の育成
－自分の力に合った目標をもち、主体的に運動する児童・
自分の体に関心をもち、自ら健康で安全な生活ができる児童をめざして－

3 今年度の取組（地域学校園内で共通する取組は文頭に○、「学校教育スタンダード」に関する取組は文頭に☆）

（1）望ましい食習慣の育成

- ☆ バランスの良い食事と健康について理解させ朝食抜き0を目指す。（通年）
- ☆ 各学級に食育コーナーを設け、食事のマナーや栄養素などについての意識を高める。（通年）
- ☆ 給食週間の充実や、給食委員会の活動によるリクエスト給食や食事マナー体験などの実施。（年2回）
 - ・ 給食時に放送での献立紹介。
- お弁当の日の実施。（12月）
 - ・ 個別の症状に応じた食物アレルギー食への対応

（2）健康・体力の向上

- ☆ 児童の自己管理能力を高めるための健康観察の実施（通年）
- ☆ 要管理児童が安心・安全な学校生活を送るため管理体制の強化
- ☆ 養護教諭の参加を取り入れた保健学習や保健指導の実施
- ☆ 自分の健康問題に気づき、生活を見直す態度を培うためのからだの学習（ミニ保健指導）の実施
 - ・ 児童保健委員会による健康出前講座の実施
- 学級活動における系統的な歯の指導の実施（6月）
- ☆ 元気っ子健康体力チェック（新体力テスト）の結果をふまえた教科体育における補強運動の継続
投力 → ミニマムへの挑戦、ドッジボール大会への参加、紙でっぼう、など。
持久力 → 8の字跳び、短縄持久跳び、○分間走、鬼ごっこ、など。

☆ ミニマム達成に向け、運動プログラム集の有効活用

- ・ 運動量豊富な教科体育の実践
- ・ 各種検定の実施（水泳6～9月 なわとび12月～2月）

☆ 休み時間等の固定施設での遊びの奨励

☆ 運動委員会主催のスポーツ大会（ドッジボール大会）の実施（11月～12月）

- ・ 学級やグループでの体力づくり（「うつのみや元気っ子チャレンジ」）の奨励

☆ 通学路点検の実施（通学路の危険箇所を児童と一緒に確かめながらの下校）

☆ 不審者対策として、必要に応じて学年下校時に途中まで児童を引率する。

☆ 避難訓練を実施し、校内での災害を想定しながら避難経路の確認をする。（年3回）

（3）家庭・地域・関係機関との連携協力

- ・ 食育コーナーのある学年だより・食育だよりの発行により家庭との連携を強化する。（毎月）
- ☆ ライオンズクラブを利用し、薬物乱用防止教室を実施する。
- ☆ 学校薬剤師と連携を図り、5年喫煙防止教育や6年薬教育の授業を実施する。（11月・2月）
- ☆ 「家庭と学校が、健康課題について一緒に学び考える場」として学校保健給食委員会を実施する。
- ☆ 保健だより「げんきっこ」を発行する。（通年）
- ☆ 新体力テストの結果を通知する。
 - ・ 各種検定の内容や結果について、学年だより等を活用して保護者への周知を図る。
- ☆ 保護者・生活指導部と連携した一斉下校を実施し、毎週水曜日に立哨当番の保護者の見守る中を安全に班で下校する。（通年）
- ☆ 警察スクールサポーターや関係機関などと連携し、防犯教室と避難訓練を実施する。
- ☆ スクールガードアドバイザーを講師とし、教師対象の不審者対策実技研修を実施する。
 - ・ 消防署等と連携して、保護者・教師対象の心肺蘇生法並びにAED操作講習会を実施する。（夏休み）
 - ・ 宇都宮市生活安心課の「子ども自転車免許事業」による自転車教室を実施する。（4年生）